

2級 (1)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
け	は	みにく	うれ	うやうや	にせ	もてあそ	も	ひざがしら	しぶ	でいたん	おくそく	はそく	ゆうよ	そうちよう	ろてい	ぜんしん	ゆせい	せつしよう	とくしか	こうそ	はんぼう	さいご	きんせん	けんぼん	あんかん	せんちゃ	やしゅ	しょうそう	じゅうてん

(一) 読み (30) 1×30

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	ア	イ	ウ	エ	ア	ウ	イ	ア	オ

(二) 部首 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
手	之	虍	女	口	又	豕	辰	广	豸

(三) 熟語の構成 (20) 2×10

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。

15	14	13	12	11	問2	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
キ	ア	コ	イ	ク	意味	理路	抜山	唯唯々唯	厚顔	金科	行脚	頓挫	滅裂	邪説	暮改	書き取り

(四) 四字熟語 (30) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
旨	棟	要塞	洋裁	加減	下弦	顕示	堅持	軽症	警鐘

(六) 同音・同訓異字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
妥協	完璧	報酬	勲功	邸宅	治療	慶祝	委細	清澄	侮蔑

(五) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1
凡例	年貢	胸襟	包括	惨敗

(九) 書き取り (50) 2×25

(下へつづく)

5	4	3	2	1
募っ	怪しん	疎ましい	免れる	忍ばせる

(八) 漢字と送りかな (10) 2×5

5	4	3	2	1	
間	布	状	尽	査	誤
環	膚	壤	甚	詐	正

(七) 誤字訂正 (10) 2×5

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
唇	窮	鶴	硫黄	芳	慰	覆	爽	繭	誓	懲	故	難癖	営巢	煮沸	恐慌	愛猫	褒美	呪縛	三昧

準2級 (1)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
く	か	ゆう	は	しぶ	も	う	つ	つ	さ	ち	し	ご	あ	か	け	か	じ	だ	あ	じ	か	が	か	り	ち	ぎ	て	ゆう	し
ら	さ	す	な	し	ど	けた	ぐ	ぼ	る	ゅう	ょう	う	ん	っ	い	ん	ょう	べ	い	よ	ん	ん	ん	ん	ん	ん	ん	ん	ん

(一) 読み (30) 1×30

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	エ	ウ	エ	オ	イ	ア	イ	ア

(三) 熟語の構成 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	寸	皿	目	土	采	犬	舛	缶	心

(二) 部首 (10) 1×10

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。

15	14	13	12	11	問2	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
ウ	キ	カ	ア	コ	意味	御	菜	婚	歴	憾	刻	没	紫	条	福	書き取り

(四) 四字熟語 (30) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
奮	震	布	婦	癒	愉	肖	称	矯	享

(六) 同音・同訓異字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
大	憤	考	我	逐	分	湿	閑	放	極
衆	慨	慮	慢	次	裂	潤	散	任	端

(五) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1
病	傑	声	窒	防
魔	出	援	息	腐
				剤

(九) 書き取り (50) 2×25

(下へつづく)

5	4	3	2	1
懲	鋭	与	伸	遮
り	く	え	ば	ら
る			す	

(八) 漢字と送りがな (10) 2×5

5	4	3	2	1	
特	洗	採	境	従	誤
篤	染	載	況	充	正

(七) 誤字訂正 (10) 2×5

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
据	紛	拙	手	寂	踏	拒	一	身	主	連	巨	購	迅	伯	同	搜	凡	蛇	肯
			袋				肌	柄	賓	邦	漢	入	速	仲	伴	索	人	口	定

3級 (1)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
か	は	ほ		お		か			す	い	ひ	と	し	そ	ほ	ふ	ち	た	ば	わ	か	ず	き	せ	そ	ち	け	は	ち
わ	や	の	む	ど	ほ	ら	さ	こ	み	し	よ	う	ゅう	く	う	さ	ょう	え	く	ん	か	い	せ	き	し	たい	ん	は	く
せ	が	お							え	り	は	き	ぜん	しん	らく	い	え	き	ろ	ない	かん	ぶん	い	ら	ら	やく	き	さん	

1×30

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	オ	ウ	エ	オ	ア	ウ	エ	オ	ウ	イ	エ	ア	オ	イ
荒	揚	飽	肝	甘	勘	慨	該	概	覆	副	伏	卑	疲	被

2×15

5	4	3	2	1
オ	エ	コ	ケ	ク
封	魂	衝	削	匿

2×5

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ア	オ	ウ	ア	ア	ウ	イ	エ	エ

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	イ	ウ	ア	イ	ア	ウ	イ	ア	エ
口	行	羽	田	女	爰	月	之	人	文

1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
欠	頭	豊	邪	創	束	異	重	減	栄

2×10

5	4	3	2	1
背	慕	沈	悔	従
く	う	め	しく	う

2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
一	東	卓	三	得	明	単	臨	天	独
貫	西	説	脚	失	朗	刀	機	衣	断

2×10

5	4	3	2	1
美	造	伸	旧	最
備	蔵	針	朽	再

2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
足	焦	曇	励	滑	更	刷	妨	吸	確	緩	聴	国	伴	展	細	暫	冷	先	別
袋								着	実	和	力	籍	奏	覧	胞	定	凍	輩	途

2×20

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
と	か	し	こ		こ	た		お	き	は	へ	か	たい	ご	て	ふ	ぼ	こ	え	け	の	て	み	ひ	か	い	て	し	た
う	な	ず	わ	と	よ	よ	く	そ	り	ん	き	い	ね	う	い	く	う	ん	い	い	う	ん	つ	ち	ん	ぎ	さ	た	ん
げ	め	く		み	み	よ		ぎ		し	め	ひ	つ	か	そ	し	かん	と	し	し	し	ぶ	ぎ	ち	こ	い	さ	く	す

(一) 読み (30) 1×30

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	エ	イ	ウ	イ	オ	ア	オ	ウ	ア	イ	エ	イ	ウ	ア
閉	泊	富	余	与	誉	堤	抵	底	被	悲	彼	堅	遣	圈

(二) 同音・同訓異字 (30) 2×15

5	4	3	2	1
コ	カ	ウ	オ	ク
捕	稿	黙	侵	脚

(三) 漢字識別 (10) 2×5

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	エ	イ	ア	オ	ウ	ア	イ	エ

(四) 熟語の構成 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	工	ウ	イ	ア	エ	ア	ウ	ア	ウ
卩	隸	皿	爻	彡	行	冂	戸	ロ	卩

(五) 部首 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
務	綿	互	樹	群	陽	貯	念	隣	暖

(六) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1
授	謝	攻	覚	輝
け	れ	める	まし	かしい

(七) 漢字と送りがない (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
燥	乱	態	流	歴	維	秋	豊	分	終

(八) 四字熟語 (20) 2×10

5	4	3	2	1	
迫	欄	弁	細	盟	誤
拍	覧	便	採	迷	正

(九) 誤字訂正 (10) 2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
裏	見	添	鉛	隠	傾	鋭	吐	格	芸	砂	冒	丈	握	好	透	宇	反	雑	測
庭	込							闘	能	丘	険	夫	手	感	明	宙	響	誌	定

(十) 書き取り (40) 2×20

5級 (1)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
しょうじ	とど	ふる	かんけつ	も	きょうり	おさな	ないかく	ほうそう	い	はり	しゅうきょう	みと	うんちん	いた	ゆうらんせん	すいしん	おんし	ほ	うつ

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
9	5	10	3	13	8	11	9	7	4

(三) 画数(算用数字) (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ケ	い	オ	こ	エ	あ	イ	く	カ	き

(二) 部首と部首記号 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	ウ	ア	エ	イ	エ	ア	ウ	ア

(五) 音と訓(記号) (20) 2×10

5	4	3	2	1
疑う	痛い	縮める	拝む	暮れる

(四) 漢字と送りかな(ひらがな) (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
将	貴	論	宣	割	誕	臨	難	善	宅

(七) 対義語類義語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
晩	操	誌	宙	郵	処	吸	存	興	延

(六) 四字の熟語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
細	裁	頂	潮	札	冊	層	倉	値	根

(十) 同じ読み漢字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	ウ	エ	イ	ア	ウ	エ	イ	ア	ウ

(九) 熟語の構成(記号) (20) 2×10

5	4	3	2	1
イ	エ	カ	ケ	キ
オ	ア	ウ	ク	コ

(八) 熟語作り(記号) (10) 2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
腹	我	俳句	展示	看板	朗読	骨	並	裏庭	区域	散策	憲法	縦	垂	班	浴	強敵	担任	砂糖	窓

(十一) 漢字 (40) 2×20

6級

(1)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ど	い	ふくぎつ	かいえん	こころよ	いきお	くどうてん	ふた	が	どうしよう	て	せいぎかん	きょうみ	か	と	ま	よ	も	こくさい	は
く	ま	つ	ん	よ	お	ん	た	か	う	き	かん	み	ま		よ	う	う	さい	

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
土	キ	イ	コ	广	才	頁	ク	言	ウ

(三) 部首名と部首 (10) 1×10

5	4	3	2	1
逆	修	破	易	燃
らう	める	る	しい	える

(二) 漢字と送りかなひらがな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	ウ	ア	イ	エ	イ	エ	ウ	ア	イ

(五) じゅく語の構成記号 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
13	6	12	9	8	1	12	10	7	6

(四) 画数(算用数字) (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
断	態	夢	賛	容	液	独	精	述	現

(七) 対義語類義語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
暴	象	絶	可	忘	織	任	留	圧	慣

(六) 三字のじゅく語(一字) (20) 2×10

9	8	7	6	5	4	3	2	1
費	肥	非	謝	舎	借	貸	幹	完

(十) 同じ読みの漢字 (18) 2×9

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	エ	ウ	ア	イ	ア	エ	イ	ウ	ア

(九) 音と訓記号 (20) 2×10

6	5	4	3	2	1
イ	キ	サ	ク	シ	オ

(八) じゅく語作り(記号) (12) 2×6

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
仏	寄	防	久	技術	指導	険	伝統	喜	事故	効果	輸入	招待	厚	規則	示	条件	編	衛星	粉雪

(十四) 漢字 (40) 2×20

7級 (1)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
あ	し	だ	ね		さ	よ	し	ふ		と	し		お	は	あ	い	は		う
さ	ぜ	い	っ	つ	べ	やく	ゆる	う	さ	な	が	や		ん	ん	さ	く	か	め
	ん	じん	せん		つ		い	けい			けん			せい	がい		ぶん		

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	ア	イ	ウ	ア	ウ	イ	ウ	ア

(三) 漢字えらび(記号) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
す	こ	お	ろ	こ	し				
	う		う	こ	ち	な			
	て		じん	ろ	やく				
	ん		かい						

(二) 読み (10) 1×10

5	4	3	2	1
満	昨	望	陸	辺

(六) 対義語(一字) (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	ア	イ	イ	ア	イ	イ	ア	イ	ア

(五) 音読み・訓読み(記号) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
総画数					何画目				
6	15	9	12	5	8	9	18	4	7

(四) 画数(算用数字) (10) 1×10

ウ			イ			ア			
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
散	放	改	敗	達	連	選	伝	信	仲

(八) 同じ部首の漢字 (20) 2×10

7	6	5	4	3	2	1
参	群	静	養	借	熱	求
る	れる	かな	う	りる	い	める

(七) 漢字と送りかな(ひらがな) (14) 2×7

五		四		三		二		一	
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	ア	イ	エ	オ	ウ	イ	オ	ア	エ

(十) 同じく語作り(記号) (20) 2×10

8	7	6	5	4	3	2	1
節	説	量	料	果	加	菜	最

(九) 同じ読みの漢字 (16) 2×8

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
固	祝	観	億	灯	利	包	塩	覚	願	愛	建	清	徳	録	径	働	置	極	低

(十一) 漢字 (40) 2×20

(一) つぎの線の漢字の読みがなを
線の右に書きなさい。

30
1X30

- あたり一面に雪がもつまっている。
- 筆箱から消しゴムを取り出す。
- 自分の考えを短い文にまとめる。
- のこぎりを使って板を切る。
- 電柱の高い所で工事をしている。
- 通学路のどちらに小さな橋がある。
- バスはカーブで速度を落とす。
- 絵の具をまぜて新しい色を作る。
- 今朝は池に氷がはっていた。
- 係の人がアンケート用紙を配る。
- 五十メートルを全力で走り切る。
- 先生に指名されて教科書を読む。
- 外に出ると、息が白くなった。
- 強風のため電車が運転を見合わせる。
- ぞうが長い鼻でバナナをつかむ。
- 川原で空きかんやごみを拾った。
- 二重とびのとび方を教えてもらう。
- つくえの横の本だに辞書をおく。
- グラウンドで学級ごとに整列する。
- さんせいより反対が多かった。

神 終 館 死 幸
 所 列 住 島 有

3 9 12 5 3
 8 6 7 10 6

(二) つぎの漢字の太いところは、何番めに
書きますか。○の中に数字を書きなさい。

30 川や湖の水を飲み水として利用する。
 29 金魚の泳ぐ様子をかきさつする。
 28 こわい昔話を聞いてぞっとした。
 27 南のまどから太陽の光がさしこむ。
 26 おじは火山の研究をしている。
 25 入り口のドアを軽くノックする。
 24 主人公の気持ちを深く読み取る。
 23 次の日曜日にたこあげ大会がある。
 22 新しい薬の開発に取り組む。
 21 節分に神社で豆まきが行われる。

(三) (一)の中に漢字を書いて、上のはんたいの
いみのことばにしなさい。

- せめる — (守)る
 明るい — (暗)い
 来 年 — (去)年
 止める — (動)かす
 かりる — (返)す

(四) おなじなかまの漢字を□の中に書きなさい。

ごんべん …… 相 談 ・ 下 調 べ
 うかんむり …… 安 売 り ・ 客 船
 (土) …… 坂 道 ・ 地 面
 しかばね …… 薬 局 ・ 山 小 屋
 こころ …… 感 想 ・ 悪 口

うらへつづく

(五) つぎの(一)の中に漢字を書きなさい。

20
2X10

- 計算ドリルでかけ算の練習をする。
 列車に乗って九州を一周したい。
 夕食の前に宿題をすませる。
 (時)代(代)げきのさつえいを見学した。
 自分をしようかいする文(章)を書く。
 駅前(商)店がいに書店がある。
 スケートの世(界)大会が開かれる。
 図書館は校舎の二(階)にある。
 車は十(秒)でトンネルを通りすぎた。
 (病)院でけがの手当てを受ける。
- (六) つぎの線のカタカナを○の中の漢字を
おくりがな(かな)で□の中に書きな
さい。
- 1 温 ふろに入って体をアタメル。
 2 美 赤くそまった西の空がウツクシイ。
 3 味 手作りの料理をアジワウ。
 4 集 冬鳥がアツマル湖に行った。
 5 向 子ねこにカメラをムケル。

(七) つぎの線の漢字の読みがなを
線の右に書きなさい。

10
1X10

- ぼくのすきな教科は体育だ。
 ビニールハウスでいちごを育てる。
 むだづかいはやめようと決心した。
 はん長を話し合いて決める。
 店のくじ引きて一等が当たる。
 大ききの等しい円を二つかく。
 ラジオでニュースを放送している。
 たくさんの白いはとが空に放された。
 期待にこたえ、試合で点を入れた。
 友だちと公園で待ち合わせる。
- (八) つぎの□の中に漢字を書きなさい。
- 1 かべ新聞に遠足の記事と
 2 写 真 がのっている。
 3 苦 手なたて
 4 笛 が上手に
 5 書いて、うれしかった。

○この答えを見て、書けなかったところは
どこか、まちがったところはどこか、
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、
そのままにしないで、すぐに練習をして
正しくおぼえましょう。

〔不許複製〕

- 3 姉とおそろいの洋服を買ってもらった。
 4 サッカー大会の決勝で、くやしみだを流した。
 5 足もとに注意して寺の急な石だんを上る。
 6 ボールを投げると、犬が走って追いかけた。
 7 父は朝早くから畑に出て農作業をしている。
 8 お正月に家族で遊ぶんだ。
 9 医者になって多くの人の命を助けた。
 10 庭の花だんにチューリップの球根を植える。

— お わ り —

(一) つぎの文をよんで、— さんの漢字の(22) (1×22)
よみがなを— さんの右にかきなさい。

- 1 クリスマス会で友だちとプレゼントの交かんをした。
- 2 ソファアてねている妹に

- 3 古いお寺のにわに小さな池がある。
- 4 父のふる里のおじいさんは

- 5 国語のテストで、もんだいの文を読んでよく考えてから
- 6 答えを書いた。

- 7 昼ごはんは、細かく切った
- 8 野さいや牛肉の肉の入った

- 9 カレーを食べた。

- 10 へいの上を歩いてる。
- 11 7 昼ごはんは、細かく切った

- 12 野さいや牛肉の肉の入った
- 13 カレーを食べた。

- 14 へいの上を歩いてる。
- 15 7 昼ごはんは、細かく切った

(二) つぎの漢字のふたひらがなはなんぼに(10) (1×10)
かきまて、○の中はもう一字をかきなさい。

北	楽	春	茶	来
③	⑪	④	⑥	⑤
弱	南	組	頭	西
⑩	⑨	⑪	⑩	⑥

(三) □にひらがなを一字かいて、つぎの(10) (1×8)
ことはのよみをこたえなさい。
(れい) 左右……さ(ゆ)

弓矢	天才	大工	正門	元通り
ゆみや	てん	だいく	せいもん	もとどおり
や	さい	く	もん	おり

(四) ○のころは、はなるか、とめるか、(4) (1×4)
正しいかきかたで○の中にかきなさい。
(れい) 字→字、下○→下○

しかの角	まどの外
汽車	白鳥

(五) つぎの文をよんで、— さんの漢字の(10) (1×10)
よみがなを— さんの右にかきなさい。

- 1 新せんなくだものを買う。
 - 2 公園のぶらんこが新しくなった。
 - 3 体いくてなわとびをした。
 - 4 バスタオルで体をしっかりふく。
 - 5 町の中心にデパートがある。
 - 6 早ね早おきを心がける。
 - 7 姉は午前六時に出かけた。
 - 8 つくえを手前にひきよせた。
 - 9 ニさつの本のねだんを合計する。
 - 10 ピアノの音に合わせて歌う。
- うらへつづく —

(六) つぎの漢字のふたひらがなを漢字で(6) (1×6)
かくとど、どちらが正しいですか。正しい
ほうのばんごうに○をつけてなさい。

半ぶん	りゅう	知じん	出あう	ゆう方	岩せき
① 半分	① 理由	① 知人	① 出会う	① 多方	① 岩古
② 半刀	② 里ゆう	② 知人	② 出谷う	② タ方	② 岩石

(七) れいのようにおなじな漢字を(20) (2×10)
□の中にかきなさい。
(れい) 林……村人・山林

雪	雨	日	遠	市場
ゆき	あめ	よう	えん	ば
電	先	晴	週	地
気	先	れ	週	図

(八) つぎの□の中に漢字をかきなさい。(20) (2×10)

夏	西	米	夜	貝
ふゆ	ひがし	むぎ	あき	さかな
冬	東	麦	朝	魚
むかし	買う	歩く	細い	ひくい
今	売	走る	太	高い

(九) つぎの文をよんで、□の中に漢字を(20) (2×25)
かきなさい。

算数の時間に

1 算数の時間を

2 直線を引いた。

3 じようぎをつかって

4 自分でん車を思い切り

5 こいで、長いさか道を

6 上る。

3 まどから強い風が入り、

4 カーテンが大きくゆれた。

5 スーパーを見学した。店の

6 人の話を聞いた後、

7 店内を見て回った。

8 ぼくの弟は毎日、

9 黄色いかばんをもって

10 ようち園に行く。

11 6 さのう、親子でさんかする

12 おかし教室に行った。

13 お母さんと、ハートや星の

14 形のクッキーを作った。

15 — おわり —

○この答えを見て、書けなかったところはどこか、まちがったところはどこか、しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、そのままにしないで、すぐに練習をして正しくおぼえましょう。

(不許複製)

1 つぎのぶんをよんで、**かん字**のよみがなを——**せん**のよみにかきなさい。
④ 2×20

1 ゴールを **目**ぎして

カ **い**っぱいはしる。

2 となり町の **み**せで **青**い

セーターを **か**った。

3 お正月に **じん**じゃへ

いった。百だんもある

石だんを **の**ぼった。

4 タやけでにしの **空**が

赤く **そ**まって **見**えた。

5 ならった **かん**字を **二**つ

つかって **文**をつくる。

花 竹 音 虫 女 木
⑥ ③ ⑥ ④ ① ③

貝 学 空 九 月 左
⑦ ⑧ ⑧ ② ④ ⑤

② つぎの **かん字**のふといたところは **なん**ばんに **め**にかきますか。○の **な**かに **す**う字をかきなさい。

② 入れた。

ひろって **竹**かこの **中**に

7 林で **どん**ぐりを **五**こ

こえて **へん**じをした。

6 名まえを **よ**ばれて **大**きな

③ つぎのぶんをよんで、**せん**の **かん字**のよみがなを——**せん**の **み**きに **か**きなさい。
④ 2×8

えきまえで **火**じがあつた。

ろうそくの **火**がかせて **き**えた。

音がくしつで **オル**ガンを **ひ**く。

ドアを **し**める **音**がした。

水よう日に **ダン**スを **な**らう。

さむくて **水**が **つ**めたい。

ろう下を **し**ずかに **あ**るく。

おちばの **下**に **み**みずが **い**た。

——うらへつづく——

④ つぎの **ことば**の **よ**みがなを **た**だしい **ほう**の **ぼん**ごうに ○ を **つ**けなさい。
④ 2×8

1 八十
② はちじゅう

2 王さま
① おおさま
② おうさま

3 上下
① じようげ
② ぢようげ

4 六かい
① ろっかい
② ろつかい

5 町名
① ちようめえ
② ちようめい

⑤ □ に **ひ**らがなを **一**字 **か**いて **つ**ぎの **ことば**の **よ**みを **こ**たえなさい。
(れい ふじ山……ふじさん)

入 学 …… に **ゆう** **が**く

一 本 …… い **っ** **ぽ**ん

大 ず ぎ …… **だ** い **す** き

七 千 …… **な** **な** **せ**ん
お年玉 …… **お** **と** **し** **だ** **ま**

⑥ つぎの □ の **な**に **かん字**をかきなさい。
④ 2×10

足 …… **て** **ぎ**ん …… **き**ん **金**

花 …… **く** **も**り …… **あ**め **雨**

林 …… **し** **ろ** **い** **白**い

空 …… **す** **わ**る …… **た** **つ** **立**つ

すな …… **い** **る** …… **で** **る** **出**る

⑦ つぎのぶんをよんで、□の **な**に **かん字**をかきなさい。
④ 2×20

1 ふゆ **休**みに **か**ぞく

② 四 **人**で **ス**キーに **い**った。

③ 犬 **が** **口**を **大**きく

あけて **あ**く **び**をした。

③ 糸 **で**ん **わ**を **右**の

③ 耳 **に** **あ**てて **こ**えを **き**く。

4 学 **校**の **も**ん **の** **ま**えで

⑨ 先 **生**に **げ**ん **気**よく

あい **さ**つ **を** **し**た。

5 あ **さ** **早**く **お**きて

お **と**う **さ**ん **と** **川**の

ち **か**く **を** **さ**ん **ぼ**した。

6 男 **の** **子**が **ひ**ろ **ば**で

じ **て**ん **車**に **の**つて

あ **そ**ん **で** **い**る。

7 山 **に** **の**ぼ **と** **村**の

⑩ 田 **ん** **ぼ** **や** **は** **た** **け**が

⑩ 小 **さ**く **見**えた。

——おわり——

10級 I

○この **こ**たえ **を** **見**て、**か**け **な**か **つ**た **と**ころは **ど**こ **か**、**ま**ち **が** **つ**た **と**ころは **ど**こ **か**、**し**っ **か**り **た**し **か**め **て** **く**だ **さ**い。

○**か**け **な**か **つ**た **字**や、**ま**ち **が** **つ**た **と**ころは、**そ**の **ま**ま **に** **し**な **い**て、**す**ぐ **に** **れ**ん **じ** **を** **し**て **ち**よ **く** **お** **ぼ** **え** **ま**し **よ**う。

(不許複製)